

防
災

淡路消防保安協会会報

あわじ

令和8(2026)年2月発行

Vol.101

I N D E X

- 防火ポスター 2~3
- 少年消防クラブ員(BFC)防災体験学習 4
- 視察研修 5
- 自衛消防隊消火技術大会 6
- 防災講演会 7
- 防火看板更新 7
- インフォメーション 8



淡路消防保安協会長賞 松帆小学校1年 松本 梨華子さん

防火ポスター



左から、谷消防長、松本梨華子さん、井高弦真さん、浅井絵捺さん、山口絢乃さん、柴田会長

令和7年度秋の火災予防運動行事の一環として島内3市の小・中学生から防火ポスターを募集したところ、総数880点の応募がありました。

9月19日(金)兵庫県教育委員会教育事務所などの協力を得て厳正なる審査が行われ、その結果、最優秀賞2点(中学生の部・小学生の部)、消防長賞1点、淡路消防保安協会会長賞1点、優秀賞12点、佳作29点の作品が決定しました。

11月7日(金)には消防庁舎で「防火ポスター表彰式」が執り行われ、受賞された方々に谷消防長、柴田会長から表彰状、記念メダルが授与されました。

最優秀賞に輝いた2作品は火災予防運動用ポスターとして、島内の会員事業所や学校等に配布し、佳作以上の作品は11月10日(月)から11月16日(日)までの間、洲本市文化体育館で防火ポスター展を開催、火災予防を呼びかけました。



最優秀賞

山口 絢乃
浅井 絵捺

青雲中学校 1年【中学生の部】
洲本第三小学校 6年【小学生の部】



消防長賞

井高 弦真

志筑小学校 3年



淡路消防保安協会会長賞

松本 梨華子

松帆小学校 1年



優秀賞

中学生の部

宮谷 颯真

青雲中学校 1年

川口 斗麻

蒼開中学校 2年

志貴 彩花

広田中学校 3年

岡田 心南

北淡中学校 3年

小学生の部

佐々木 友梨

洲本第二小学校 1年

前田 晴

洲本第一小学校 2年

林 誠士郎

神代小学校 3年

道上 実

松帆小学校 4年

英 愛珠

加茂小学校 5年

的場 由季

大野小学校 6年

林 総一郎

神代小学校 6年

漣 綾乃

浦小学校 6年

佳作

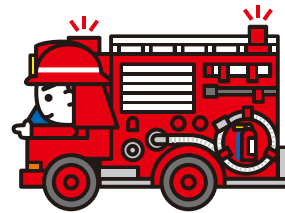
中学生の部

白瀬 彩耶佳	津名中学校	1年
高岸 奏	津名中学校	1年
西邑 優凜乃	洲浜中学校	2年
平野 心奈	洲浜中学校	2年
別惣 羽純	青雲中学校	2年
前川 琴香	蒼開中学校	2年
中舎 紗己	五色中学校	2年
小野 友布奈	青雲中学校	3年
名田 伊吹	青雲中学校	3年
南山 妃星	五色中学校	3年

小学生の部

中川 桃歌	加茂小学校	1年
近平 美織	鳥飼小学校	1年
地道 優空	一宮小学校	1年
岸本 羽留	洲本第二小学校	2年
高川 みさき	榎列小学校	2年
中尾 優太	榎列小学校	2年
林 璃胡	榎列小学校	2年
林 紗世	洲本第一小学校	3年
松本 樹璃	鳥飼小学校	3年
井高 莉乃	志筑小学校	3年
長尾 和花	塩田小学校	4年
山中 日菜子	学習小学校	4年
原田 佳典	北淡小学校	4年
藪田 心希	安乎小学校	5年
安田 悠希	榎列小学校	5年
矢野 愛望	北淡小学校	5年
藤江 真央	大野小学校	6年
山口 琉生	福良小学校	6年
高田 市也	北淡小学校	6年

最優秀賞、消防長賞、並びに
淡路消防保安協会長賞を受賞
された方々に、受賞の感想や
作品に対して、苦労したこと、
訴えたいことをインタビュ
ーさせていただきました。



青雲中学校 1年

山口 山くち
絢乃さん



最優秀賞に選ばれるとは思っ
ていなかったのだけれしいです。

この絵は、「急がば回れ」を
テーマに身近に注意や意識して
欲しいことを描きました。
特にうさぎと亀の遠近感を意
識し、目立つように背景を緑に
しました。

来年も更にインパクトのある
絵を描いて、最優秀賞に選ばれ
たいです。

洲本第三小学校 6年

浅井 浅さい
絵捺さん



最優秀賞に選ばれると思っ
ていなかったのでもううれし
いです。
火の始末をきちんとしとして欲
しいという思いで、消防士のヘル
メットや服装にこだわって描い
たので、ぜひ見て欲しいです。
防火ポスターは、初めて応募
しましたが、来年も描きたいで
す。

志筑小学校 3年

井高 井高
弦真さん



消防長賞に選ばれてとてもう
れしいです。

火は危ないということを伝え
たいと思って描きました。
たくさんさんの色を使って描いた
ので、色を塗るのに苦労しまし
たが、特に「文字」に時間をかけ
たので見て欲しいです。
来年も防火ポスターを描きた
いと思います。

松帆小学校 1年

松本 まつもと
梨華子さん



表彰式は少し恥ずかしかった
けど、お兄ちゃんも選ばれた防
火ポスターで選ばれてうれし
いです。
本などを見て時間をかけて描
きました。
特に空の色がむずかしくて苦
劳しましたが、頑張っって描いた
ので、みんなに見て欲しいです。
絵を描くことが好きなので、
来年も応募します。



少年消防クラブ員(BFC)防災体験学習



少年消防クラブ員の防災に関する学習及び親睦を深めるため、令和7年7月31日(木)防災体験学習を実施しました。

今年度は、淡路島内5小学校から38名の参加があり、神戸市にある「人と防災未来センター」、「神戸港震災メモリアルパーク」、「神戸須磨シーワールド」を見学してきました。

人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災を経験した語り部の方々から当時体験した震災のリアルなお話がありメモを取って真剣に聞いていました。また、震災の資料、当時使用した身近な物など数多く展示されており、熱心に見学していました。震災・津波を体験できるシアターでは、VR映像で津波の疑似体験ができ、個々で考えることのできる体験ができました。次いで暑い中、神戸港震災メモリアルパークを見学し、最後に神戸須磨シーワールドを観覧しました。この経験を通じてクラブ員の防災意識の向上が図れたものと思います。

参加したクラブ員の感想文を紹介します。

クラブ員の感想文

僕が、この防災体験学習で、自助と共助が大切だと思いました。なぜ、そう思ったかという、人と防災未来センターで学習して、あらかじめ準備しておくことやいつでも最悪の状態を考えて早めに行動することが自助で、ボランティア活動などで支え合うことが共助だと考えたからです。今までは、防災バッグの準備をしていませんでしたが、この防災体験学習を通じて防災バッグの重要性を感じ、用意しようと思いました。僕は、この体験で災害の危険を再理解できました。今回は、このような企画をしていただき、ありがとうございました。【Mさん】

人と防災未来センターでは、まず地震の揺れで家具が倒れたり、電柱が倒れたりする映像を見ました。電車の線路がずれたり、大きなものも倒れて、どのくらい恐ろしいものなのか分かりました。その後は、地震が起きたときにどんなことが起こるのかを映像でわかりやすくしたのを見ました。避難所では人がつめつめの状態で、嫌なにおいがするなど、大変なことが多くありました。大切な人を亡くした人、大けがをした人、いろんな人で協力しているということがわかりました。映像が終わると、地震が起こった家の模型や人形、地震に関する資料など、たくさんものを見ました。地震へのメッセージもたくさんつづられていたのが印象に残っています。地震を減らすことはできないけど、被害を減らすことはできるから、勇気を出して行動することが大切だと思いました。【Oさん】

僕は、この防災体験学習に参加して、人と防災未来センターでの経験が心に残りました。特に、地震の時の「ゴゴゴゴ!」という音と、火が燃える赤い光が印象に残りました。そして、地震は何もかも壊していくことが恐ろしかったです。僕は、地震が原因で何もかも失いたくないので、減災を頑張りたいです。例えば、減災グッズを備える。家具を固定する。そして僕は、特にできるだけ早く逃げることをしたいです。なぜなら、「逃げる」とは、「生きる」ということだと今回の防災体験学習でわかったからです。みなさん、災害時には、「生きるために逃げましょう。」【Fさん】

人と防災未来センターへ行って、阪神・淡路大震災の映像を見て、地震はこんなに揺れるんだなと思いました。映像で「地震がいつくるかは、誰にもわからない。」と言っていたので、とても怖かったし、本当にいつくるかは、わからないから、家にいて地震が起きたときにすぐに逃げられるよう、防災グッズを玄関に置いておこうと思いました。震災メモリアルパークには、地震で道がボコボコになったり、街灯がななめになっていたりするところがあって、こんなに激しい揺れだったんだなと思いました。須磨シーワールドでは、シャチのショーを見られて良かったです。おみやげを家族やおじいちゃん、おばあちゃん、ひいばあちゃんに買って帰って「ありがとう」と言ってもらえて、買ったかいいがあったなと思いました。来年も行きたいです！【Fさん】

この体験学習で命の大切さを今以上に知れました。今まで私は、大きな地震にあったことがなく、別に大丈夫かなと思っていました。ですが、この体験をし、実際の映像などを見て、自分はもう少し危機感を持った方がいいことに気付きました。もし、また大きな地震が自分の住んでいる地域で起こったらどうしようなど、考えると怖くなります。それに、阪神・淡路大震災が起こったときに生きていたお父さんやお母さんもすごいなと思いました。今は、阪神・淡路大震災が起こって30年目で、大きな地震が起こるのは30年に1回とされているので、もし、大きな地震が起こったら、この経験をいかそうと思います。【Sさん】

私が防災体験学習に参加して一番心に残ったのは、地震の映像を見たことです。阪神・淡路大震災の恐ろしさがよくわかりました。映像を見て、避難所や防災グッズを確認しようと思いました。家族と一緒に映像を見て、地震の恐ろしさを家族全員に知ってほしいなと思いました。今は、南海トラフ巨大地震が私は、一番怖いです。でも、避難所や防災グッズを家族と一緒に確認して、大切な命をおとさないようにしたいです。【Mさん】



僕は、最初に行った人と防災未来センターで阪神・淡路大震災の映像を見て、すごく怖かったです。地震でお皿が割れる音や揺れが、特に怖かったです。学んだことは、いつ地震がきても普段から逃げる準備や避難場所の確認がとても大切だと学びました。近々、南海トラフ巨大地震が起こると言われているので、家族で避難の話をしたいと思いました。シーワールドでは、オルカショーで水がたくさん飛んできて、気持ちよかったです。とても楽しかったです。オルカくじで3等が当たって可愛いかったです。少年消防クラブのおかげで新しい友達もできました。また、こんな機会があれば参加したいです。ありがとうございました。【Uさん】



令和7年度 視察研修



令和7年10月5日、6日に淡路消防保安協会視察研修を実施しました。

今回は、令和6年能登半島地震で大きな被害を受けた石川県七尾市の和倉温泉で「和倉温泉復興ツアー」に参加、観光協会のガイドさんにより、当時の状況や現在の復興状況について、温泉街を歩きながら説明を受けました。

能登観光の拠点として知られる「和倉温泉」は、七尾湾に面し、開湯から1,200年の歴史を誇る北陸唯一の海の温泉です。豊かな自然に囲まれ、山海の幸に恵まれたこの地は、県内外から多くの人々を魅了してきました。

しかし、令和6年1月1日、能登半島地震が発生、七尾市は震度6強の地震により建物や道路被害、断水、また、発生日が1月1日で温泉街であることから多くの宿泊者への対応、避難に追われるなど、大変な状況であったそうです。幸い津波による被害は少なかつたようですが、街並みや生活はまだまだ復興といえる状況ではなく、復興に向けた解体工事が行われている状況であり、再開を断念した旅館も多いとのことでした。あらためて自然災害が日時や場所を選ばないことを実感するとともに、身の引き締まる思いでした。



また、復興がようやく進んだ矢先の9月中旬には、台風14号から変わった温帯低気圧及び活発な秋雨前線や線状降水帯などの影響で豪雨となり、能登半島地震の被災地に甚大な被害をもたらしました。度重なる災害に見舞われた石川県の一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

2日目には、石川県から帰路途中に「サントリービール京都工場」で、素材選び・仕込・発酵・貯酒・濾過・パッケージといった一連の製造工程を見学、企業の取り組みやこだわり、情熱の説明を受け、おいしいサントリービールを試飲させていただきました。

2日間をとおして会員相互の親睦を深める有意義な研修でありました。

令和6年能登半島地震概要(令和7年12月現在)

発生日時	令和6年1月1日 午後4時10分
震源地	石川県能登地方
最大震度	7
規模	マグニチュード7.6
死者	698人(うち災害関連死 470人)
行方不明	2人
負傷者	1,407人
住家被害	165,681棟



第9回 白衛消防隊消火技術大会

令和7年11月11日(火)、第9回白衛消防隊消火技術大会が淡路消防庁舎周辺にて開催されました。

この「自衛消防隊消火技術大会」は、事業所などの自衛消防隊の活動技術の向上と自衛消防体制の充実強化並びに防火意識のより一層の高揚を図ることを目的として、淡路広域消防事務組合・淡路消防保安協会の共催で隔年開催しております。

今大会は、来賓として淡路県民局副局長 東尾憲秀様、淡路広域消防事務組合管理者 守本憲弘様、淡路地区消防協議会長 井上英樹様を迎えての開催となりました。



開会(谷消防長)



あいさつ(柴田会長)



祝辞(東尾副局長)



祝辞(守本市長)



選手宣誓



淡路島内各事業所の自衛消防隊28チーム・84名が参加し、日ごろの防災訓練の成果を発揮、熱戦が繰り広げられました。
閉会式では、谷消防長、柴田会長から受賞チームに賞状、トロフィー並びに副賞が贈られ、最後に井上消防協議会長に講評をいただきました。
引き続き、各事業所の皆様には自衛消防組織の資質向上と消防設備の取扱い技術の習熟を図っていただきます。次回開催をお楽しみに！

(競技内容) 1チーム3名で、2チームが同時にスタート ※スタートから屋内消火栓の標的を倒すまでのタイムを競い合います。



大声

音響計の前で3名が一緒に「火事だ！火事だー！」と叫ぶ



水消火器

水消火器を持って走り、火点に注水



担架搬送

竹と毛布で応急担架を作成し、負傷者(人形)を搬送



水バケツ

水槽の水をバケツに汲んでリレーし、火点に注水



屋内消火栓

屋内消火栓からホースを延長し、火点に放水



パナソニックエナジー南淡㈱ 賀集工場



東洋合成工業㈱ 淡路工場A



パナソニックエナジー南淡㈱ 三原工場



㈱淡路開発事業団



南あわじ市女性消防団 なでしこ分団



㈱パナナグループD

優勝

《大会結果》

パナソニックエナジー南淡㈱ 三原工場

準優勝

東洋合成工業㈱ 淡路工場A

第三位

パナソニックエナジー南淡㈱ 賀集工場

特別賞

(混成チーム1位)

(株)パナナグループD

(女性チーム1位)

南あわじ市女性消防団 なでしこ分団

(大声賞)

㈱淡路開発事業団

防災講演会



糟谷 昌俊様

令和7年12月4日(木)、洲本市文化体育館文化ホールにおいて、兵庫県淡路市と淡路消防保安協会の共催による防災講演会を開催しました。防災講演会は平成15年から毎年開催しており、今年度は、NPO法人ひょうご地域防災サポート隊理事長 糟谷昌俊様を講師に迎え、「自然災害から自分を守る」あなた自身 家庭 地域 職場は大丈夫?」と題して講演していただきました。

来賓に衆議院議員 橋本慧悟様(秘書 池上様)、兵庫県議会議員 浜田知昭様、兵庫県議会議員 太田やすみ様をお迎えし、協会員、県職員、各市職員、消防職員、消防団員等253名の参加がありました。

糟谷様は、元兵庫県土木整備部長で、長年土木行政の分野で勤務、阪神淡路大震災や多くの豪雨災害を経験されました。講演では、いつ起こってもおかしくない南海トラフ巨大地震への「自分自身、家庭、地域、職場」としての備えや計画について、具体的にお話しいただきました。

講演の最後には、二次元コードを使用したハザードマップや気象関係の閲覧方法についてご紹介いただきました。

家庭内や企業内での対策・計画を再度話し合うきっかけになったのではないかと思います。



前列左から、正井さん、新崎さん、片平さん、西野署長、匠さん
後列は、洲本消防署員

防火看板更新

令和7年12月3日(水)、淡路広域消防事務組合消防本部にある電光掲示板下の防火啓発看板が更新されました。

この看板は、毎年洲本実業高校の課題研究の一環で地域商業科の生徒が製作しています。今回は、4名の生徒で作成され、「親しみがもてるようにかわいく」「消防士への感謝を忘れない」など、製作への思いを語っていました。

多くの方に見ていただき、火災予防広報として活躍していただきます。

島内火災多発!

令和7年中の島内火災件数は、128件で前年より27件増加しました。

原因として、不注意や不適切な方法による野焼きの延焼拡大(その他の火災)が多く、山林や建物へ延焼するケースもあります。

野焼きは農業や漁業を営むためにやむを得ないものとして認められる場合などを除き、禁止されています。

また、野焼きが認められた場合でも「火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出書」を消防署へ届け、消火の準備をするなど、適切に行ってください。

万一、燃え広がってしまった場合は、無理せず安全な場所に避難し、迷わず119番通報して下さい。

年別 市 別	火 災 件 数			
	令和7年	令和6年	令和5年	
洲本市	37 (28)	36 (27)	28 (18)	
南あわじ市	38 (22)	27 (10)	20 (5)	
淡路市	53 (40)	38 (24)	50 (35)	
合 計	128 (90)	101 (61)	98 (58)	

※()内の数字は、「その他の火災」を表します。

緊急事態! 野焼きからの火災が多発!

小さな火が家や山へ広がる危険!

やむを得ず野焼きを行う際の注意事項は?

- ☒ 強風時や乾燥時は行わない
- ☒ 刈り取った草は集めてから燃やす



- ☒ 完全に消えるまで離れない
- ☒ 必ず複数人で行う
- ☒ 水や消火器の準備をする

少しでも危険を感じたら、安全な場所から119番通報!!

淡路広域消防事務組合

公式キャラクター アワジファイヤーマン

YouTube動画はこちらから

INFORMATION

火災発生件数

区分 市別		令和7年累計						死傷者数 死者 負傷者	
		建物	林野	車両	船舶	その他	計		
市別	洲本市	5	3	1		28	37		1
	南あわじ市	11	1	3	1	22	38		5
	淡路市	10		2	1	40	53	1	6
	合計	26	4	6	2	90	128	1	12

救急出場件数

区分 市別		令和7年累計											救急件数
		火災	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	
市別	洲本市	5	12	141	22	15	422	6	17	1520	276	2436	
	南あわじ市	17	2	161	29	9	369	4	12	1264	288	2155	
	淡路市	13	6	167	22	28	500	5	21	1545	334	2641	
	その他※			2						1		3	
救急件数	合計	35	20	471	73	52	1291	15	50	4330	898	7235	

※その他とは、神戸淡路鳴門自動車道(明石海峡大橋上、大鳴門橋上)の救急出場を表す。

ニューフェイス

令和7年4月に新規採用されました職員は、三木市にある兵庫県消防学校での初任教育訓練を修了し、洲本消防署に配属されました。令和7年1月からは、再度消防学校へ入校し、救急教育訓練を受けます。

消防学校で学んだ基礎知識、体力を日々の訓練で向上させ、一人前の消防士として現場の第一線で活躍されることを期待します。



氏名 山口 怜(やまぐち れん)
年齢 23歳
趣味 バイク・犬の散歩
抱負 愛着のある地元淡路島の安心安全のため、日々全力で頑張ります。



氏名 那智 亘(なち わたる)
年齢 23歳
趣味 釣り
抱負 生まれ育った淡路島の人々に恩返しができるよう日々謙虚な姿勢を忘れず、精進していきます。



氏名 立浪 皓人(たつなみ ひろと)
年齢 20歳
趣味 野球・ドライブ
抱負 いち早く要救助者のもとへ行き、人命救助最優先で取り組んでいきたいと思っています。



氏名 進藤 斗真(しんどう とうま)
年齢 19歳
趣味 ドライブ・映画鑑賞
抱負 日々の訓練を全力で行い、現場で多くの人を救えるよう精進していきます。

「マイナ救急」運用開始

令和7年10月1日から、全国一斉に「マイナ救急」の運用が開始されました。

119番通報で駆けつけた救急隊員は、搬送されるご本人のお名前や生年月日等の基本的な情報のほか、かかりつけの病院やこれまで服用しているお薬などの様々な情報の聞き取りを行っています。

これらの情報は、搬送する病院の決定や救急車内での処置、病院到着後にすぐに治療を始めるための準備などに役立てられており、ご本人の命を守るために欠かせない情報となっております。

一方で、病气や怪我で苦しむご本人や、気が動転しているご家族の方から、これらの情報を正確にお伝えいただくことは、場合によっては困難なこともあります。

「マイナ救急」では、救急隊員がご本人のマイナ保険証を活用し、傷病者が過去に受診した病院や処方されたお薬などの医療情報を閲覧します。ご本人や付き添われるご家族の方の負担を軽減するとともに、傷病者の方がより適切な処置を受けるのに活用します。

ご理解とご協力をお願いいたします。



マイナ救急とは・・・
救急隊員が傷病者のマイナ保険証（健康保険証として利用登録したマイナンバーカード）を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧する仕組みのことです。

★マイナナンバーカードを見せるだけで以下の情報が伝わります



・傷病者の説明負担が軽減されます
・より適切な処置が受けられます

マイナ救急の流れ



1 傷病者が情報閲覧に同意する
2 マイナナンバーカードを読み取る ※暗証番号の入力不要
3 隊員が医療情報を閲覧する
4 より適切な処置や搬送先医療機関の選定につながる

令和7年10月1日から開始

実施救急隊数：9 隊



事業に関する情報
は特設サイトでもご
覧いただけます



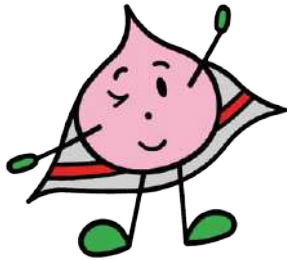
淡路広域消防事務組合消防本部

(お問い合わせ)
消防本部消防課
TEL:0799-24-0119

春の火災予防運動に伴う防火広報キャンペーン実施

3月1日から3月7日までの7日間わたり、春の全国火災予防運動が実施されることに伴い、火災予防の周知徹底と住宅用火災警報器の設置促進を図るための防火キャンペーンを実施しますので、ご協力をお願いします。

日時 令和8年2月28日(土) 10時から12時まで
場所 ① マルナカ洲本内膳店・コーナン洲本インター店
② SUPER CENTER PLANT 淡路店
③ 三原ショッピングプラザ パルティ
内容 火災予防啓発用品の配布、火災予防や住宅用火災警報器の設置の呼びかけ及び消防車両の展示
実施者 消防職員、淡路消防保安協会、女性消防団員



淡路広域消防事務組合イメージキャラクター
アワジファイヤーマン「ショウちゃん」